

御所湖随想

H23年10月 No.30

黄葉

前回に引き続き、木々の秋の装いについてですが、今年の紅葉は岩手山の初冠雪が早かったにも関わらず朝霜がほとんどなく色付きがやや悪いようです。このような年は赤や紅ではなく、黄が鮮やかになります。右の写真はヤマモミジの落葉ですが、紅葉は少しだけです。冬の使者であるハクチョウの飛来も例年より早かったのですが、本格的な寒さはやや遅れ気味なのでしょうか？余談ですが、今年のキノコはさっぱりだそうです。



さて、10月下旬の御所湖の木々の様子を紹介しましょう。



【コリノキ】

ファミリーランドや御所大橋運動場、乗り物広場にあります。6月に咲く花は可憐なのですが、あまり気が付く人もいないようです。また、黄葉に気付く人も少ないのですが、今年のように比較的暖かい秋は黄が特に鮮やかです。



【ブナ】

ブナの実を見たことがありますか？大木は乗り物広場のローラー滑り台の上の方にあります。実生からと思われる小さな苗もあります。ツキノワグマの貴重な食料ですが、あんなに小さい実を大きな手でどう食べるのでしょうか。



【トチノキ】

乗り物広場や御所大橋運動場などにあります。茶褐色の葉がちょっと気になりますが、やや渋い黄が素敵です。今年はたくさんの実がつきました。完熟した実の皮をむき、粉にひいて、3～7日流水にさらし...、と食べるのは簡単ではなさそうです。



【キハダ】

樹皮は胃腸薬に使われ、外用薬として捻挫や打ち身にも効果があるようです。そのために、御所大橋運動場に植えられたのでしょうか。

他にも、オニグルミやニセアカシアなどの黄が目につきます。今年の野山は「黄」がテーマカラーです